

JAMA 電子情報フォーラム 2016

ビジネスシステム (BS) 部会 活動概要

一般社団法人 日本自動車工業会

電子情報委員会
ビジネスシステム部会
部会長 小山 幸雄

2016年2月19日

1．ビジネスシステム部会の役割と体制

2．ビジネスシステム部会の歴史

3．直近の活動実績（2014年度、2015年度） と今後の活動について

4．ビジネスシステム部会の方向性

1. ビジネスシステム部会の役割と体制

電子情報委員会

電子情報企画部会

ビジネスシステム部会

デジタル
エンジニアリング部会

<役割>

ビジネス分野における電子情報の標準化推進

- ・ビジネス関連プロセスやツールなどの標準化、共通化を検討、推進
- ・ビジネス系IT分野の調査・研究
- ・標準の維持・普及
- ・グローバル標準の開発、管理

(注) (欧州(ODETTE)、米国(AIAG)と合同フォーラム(JAIF)で協議)

(注)

ODETTE: Organization for Data Exchange
by Tele-Transmission in Europe

AIAG: Automotive Industry
Action Group

JAIF: Joint Automotive
Industry Forum

1. ビジネスシステム部会の役割と体制（2015年度体制）

ビジネスシステム部会

[部会長] トヨタ
[副部会長] 日産 ホンダ
マツダ

部会方針決定、OEM14社参画

BS統括分科会

[分科会長] ホンダ
[副分科会長] マツダ

部会の方針案検討、標準適用フォロー、
国内外情報交換

Next EDI検討T/F

[リーダー] 日産
[サブリーダー] ホンダ

次期EDI標準策定に向けた調査/検討

メッセージWG (EDIFACT/XML)

[主査] 日産
[副主査] ホンダ

EDIFACT/XMLメッセージ維持・普及

帳票WG

[主査] 三菱

標準帳票 維持・普及

(注) A I D C - W G

[主査] ヤマハ

自動認識ガイドライン作成・維持・普及
IT技術進化への追従性 調査・研究

(注)

AIDC: Automatic
Identification and
Data Capture

1 . ビジネスシステム部会の役割と体制

2 . ビジネスシステム部会の歴史

3 . 直近の活動実績（2014年度、2015年度） と今後の活動について

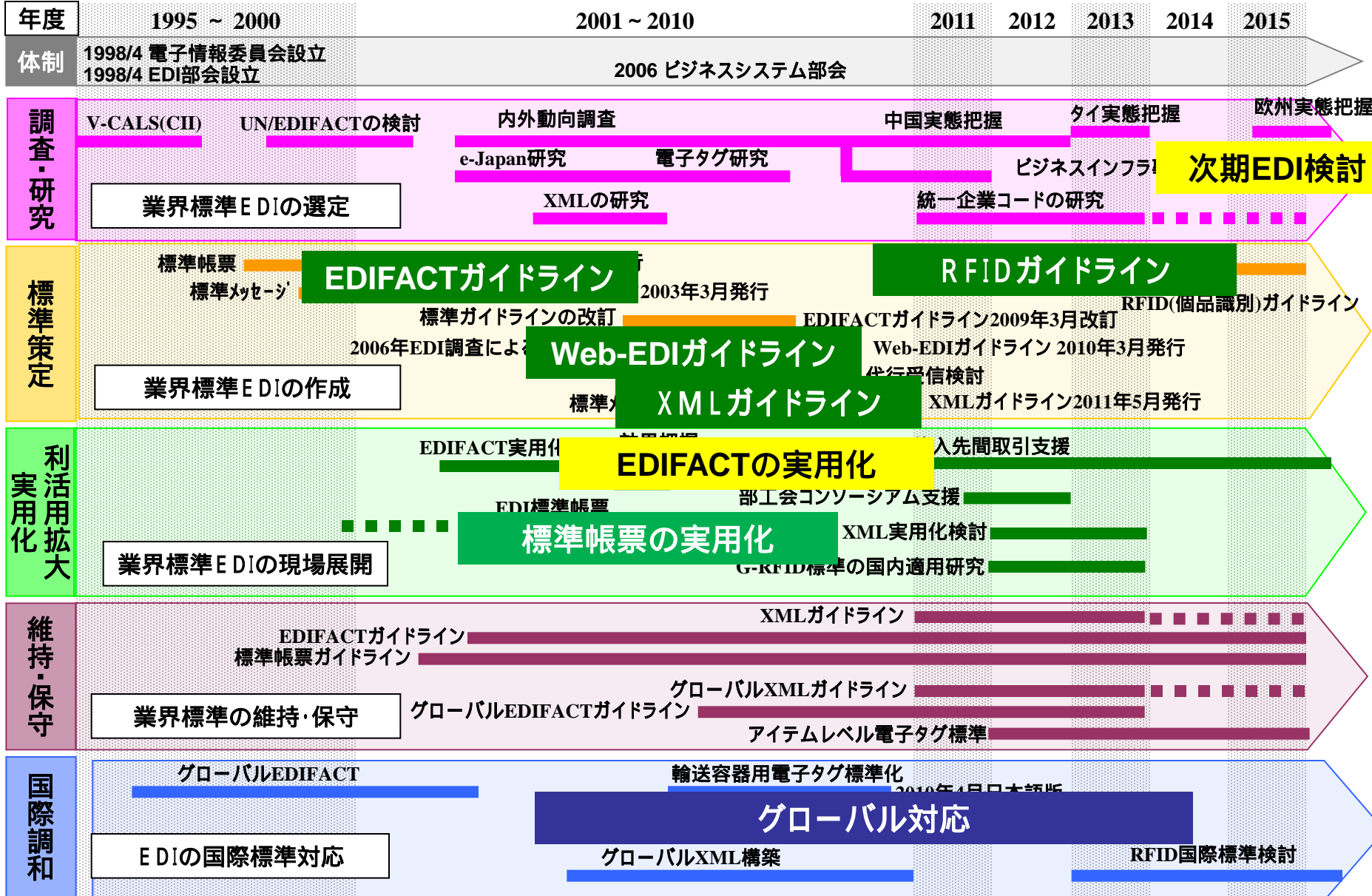
4 . ビジネスシステム部会の方向性

2. ビジネスシステム部会の歴史（概要）

自工会では90年代前半にデータ交換（EDI）標準化検討を開始し、98年に電子情報委員会EDI部会を設立。06年にはビジネスシステム部会となりビジネス分野EDI標準化に取り組んでいます。

年代	1994年～	1998年～	2006年～
活動体制	電子情報交換標準検討会(EDI標準化検討会)	電子情報委員会 EDI部会	電子情報委員会 ビジネスシステム部会
主要取組活動	<ul style="list-style-type: none"> 自動車業界EDI標準化検討開始 →経産省推奨のCII実証検証、結果芳しくなく採用に至らず 	<ul style="list-style-type: none"> 欧州(ODETTE)、米国(AIAG)採用予定のEDIFACT検討開始(98/4) ・2000年電子情報委員会でEDIFACTを業界標準に決定 ・2003年導入開始 ・EDIFACT関連各種ガイドラインの作成、展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・日米欧3極(JAIF)でEDIFACT維持・管理 ・EDIFACT実態調査(2006) ・EDIFACT普及促進セミナー ・XML標準作成、中小企業対策検討 ・RFID適用ガイドライン作成と8ビット格納ISO改訂提案 ・自動車業界次期EDI検討開始(2014年度～)

2. ビジネスシステム部会の歴史（年表）



1 . ビジネスシステム部会の役割と体制

2 . ビジネスシステム部会の歴史

**3 . 直近の活動実績（2014年度、2015年度）
と今後の活動について**

4 . ビジネスシステム部会の方向性

3 . 直近の活動実績（2014年度、2015年度） と今後の活動について

< 中計 2014年度～2016年度作成とその主旨 >

自工会EDI標準(EDIFACT)普及と中小企業EDI化促進検討
 個品識別(RFID活用等)適用ガイドライン検討
 国内外動向把握とグローバル標準への対応

< 中計の施策 >

年表テーマ	主旨との関連	施 策
調査・研究		・海外動向調査、新興国(タイ)の標準化状況把握
標準策定	、	・簡易XMLガイドライン作成 ・中小企業向け標準帳票検討・開発 ・個品識別RFIDガイドライン検討
利活用拡大 実用化		・EDI普及セミナー
維持・保守		・EDIFACT、XMLガイドライン改訂 ・標準帳票ガイドライン改訂
国際調和		・グローバル標準ガイドライン維持・管理

ご参考：中期計画2014年度～2016年度（作成当時）

テーマ	2014年度	2015年度	現時点	2016年度	中期末の目標
ビジョン実現に向けた施策立案		標準普及プランの検討			<ul style="list-style-type: none"> 2020年ビジョン実現に向けた普及プランが完成している 中期計画の見直し
		デジタルコラボレーション施策に基づく見直し			
国際対応	グローバル標準ガイドラインの維持・管理				<ul style="list-style-type: none"> UN変更に伴うメンテナンス継続 新規提案に基づく国際標準の検討
	新規標準の検討				
標準化企画	簡易XMLガイドライン作成	簡易XML実証検証		簡易XMLガイドライン改訂	<ul style="list-style-type: none"> 中小向け簡易XMLガイドラインの発刊 中小向け標準帳票の開発 国内適用ガイドラインの発刊 中小の受発注プロセスの把握 画面統一ガイド発刊 統一企業コードガイドラインの完成
	標準帳票ガイドライン改訂	中小向け標準帳票検討		中小向け標準帳票開発	
	個品識別RFIDガイドライン				
				RTI RFIDガイドライン	
	受発注プロセス把握	受発注プロセス明確化			
		Web-EDI画面統一検討		ガイドライン整備	
	統一企業コード対応ガイドライン				
標準の維持・改善	標準帳票ガイドラインの維持・改訂				<ul style="list-style-type: none"> ニーズに基づく改訂 ニーズに基づく改訂
	EDIFACT/XMLガイドラインの維持・改訂				
標準の普及・徹底	関連団体との協調による標準普及の定着				<ul style="list-style-type: none"> 定期調査 BS部会活動の見える化
	EDI普及フォーラムセミナー	EDI普及フォーラムセミナー		EDI普及フォーラムセミナー	
国内外情報交換	海外カンファレンスへの参加と、必要に応じて日本のニーズ反映				<ul style="list-style-type: none"> 海外動向調査継続 他業界との意見交換
	国内他業界との情報交換				

3 . 直近の活動実績（2014年度、2015年度） と今後の活動について

< 直近の活動実績 >

	2014年度	2015年度
EDI標準化	中小企業EDI化促進検討 (JNX共通EDIのOEM適用検討)	EDIFACT再評価 次期EDI検討に向けた調査
個品識別 検討	RFID完成車物流 適用ガイドライン ▲ 1 発行	既存ガイドラインの充実/ 新規ガイドライン検討
グローバル 標準対応	5 ▲ JAIF会議 9 ▲ WEB会議 10 ▲ 新興国調査 (タイ)	3、6 ▲ WEB会議 11 ▲ JAIF会議 2 ▲ 欧州調査

3 . 直近の活動実績（2014年度、2015年度） と今後の活動について

< 今後の活動について >

① EDI標準化

- ・ EDIFACT標準導入から10年以上経過しOEM/T1間では普及したが、業界全体には普及が進まず自工会の推進活動も休止状態
- ⇒ EDIFACT普及と中小企業に特化した対策から自動車業界全体の次期EDI検討に方向性を修正

	実施事項	今後の活動
EDI標準化	<p>中小企業EDI化促進検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易XML、中小向け帳票を検討 → 標準案作成したが展開まで至らず 次期EDI検討に向けた調査 ・ EDIFACT実態調査をレビュー → EDIFACT導入効果も一部企業のみ ・ BS部会のEDIFACT実態調査 → EDIFACTが難しく、有識者育成に苦戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車業界全体の次期EDI検討 → 部工会と連携して推進 → 中小企業にも導入しやすい標準 → EDIFACT活用方法の見直し

3 . 直近の活動実績（2014年度、2015年度） と今後の活動について

< 今後の活動について >

② 個品識別検討 / ③ グローバル標準対応

・中計シナリオ通り個品識別検討とグローバル標準対応を推進

	実施事項	今後の活動
個品 識別 検討	<p>個品識別ガイドライン作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「RFID完成車物流適用ガイドライン」を作成し2014年度末に発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存ガイドライン充実と新規ガイドライン検討
グロ ー バ ル 標 準 対 応	<p>グローバル標準ガイドライン維持・管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JAIFを通じてRFID8ビット格納のISO改訂を推進 →欧米6ビット格納に追加を要請・承認 ・EDIFACT新データ種(在庫情報)を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・RFID8ビット格納のISO改訂推進 (2018年度目標) ・グローバルEDIFACTへの対応方針検討 (欧州の動向を注視)

- 1 . ビジネスシステム部会の役割と体制
- 2 . ビジネスシステム部会の歴史
- 3 . 直近の活動実績（2014年度、2015年度）
と今後の活動について
- 4 . ビジネスシステム部会の方向性**

4 . ビジネスシステム部会の方向性

2020年自動車業界全体の電子情報の標準化のありたい姿を
具体的に示してそれに至るシナリオを作成し推進してまいります

実現に向けて

EDI標準化

部工会と協力して自動車
業界全体が活用できる
次期EDI標準を検討する

- ・標準化効果の創出
- ・自動車業界参加者が
誰でも簡単に使えるEDI

個品識別検討

個品識別ロードマップを
整理し完成車の次の
ガイドラインを作成する

- ・既存ガイドライン改善
- ・次のガイドラインの検討
(2輪車、輸送容器、部品)

グローバル 標準対応

JAIFを通じて国際標準
改訂に対応する

- ・RFID8ビット格納
ISO改訂推進
- ・個品識別ガイドライン改訂
対応
- ・EDIFACT改訂対応

ご清聴ありがとうございました。

引き続きJAMA活動へのご理解とご協力を
宜しくお願い致します。